

【頭囲と発達】

- 超低出生体重児で3歳まで頭囲をフォローアップできた139例において、頭囲の伸びは退院時から1歳で大きかった。男女とも750g未満でキャッチアップ率が低く、キャッチアップ率は出生体重に依存する傾向があった。
- 岩村美佳, 菅 御也子, 岡田真衣子, ほか. 超低出生体重児の3歳時における頭囲の検討. 周産期新生児誌 2006 ; 42 : 286

- 正期産のSGA児とAGA児では、7歳でのIQ(WISC-R)はSGA児で6ポイント低かった。SGA児とその兄弟のAGA児では、SGA児で出生児の頭囲が兄弟より3cm以上小さい児でIQと視覚-運動機能のスコアが低く、頭囲の差が3cm以内のものは差がなかった。
- Gutbrod T,Wolke D,Soehne B,et al.Effects of gestation and birth weight on the growth and development of very low birthweight small for gestational age infants:a matched group comparison.Arch Dis Child Fetal Neonatal 2000;Ed82:F208-14

- 出生時頭囲、NICU退院時頭囲と6歳の認知能力の関連では、出生時、退院時ともに小頭の例では3歳、6歳の頭囲SDスコアは小さく、知能は低値の傾向にある。出生時頭囲が正常範囲であり退院時小頭であった例は6歳知能検査でFIQ、VIQが低値であった。出生後の頭囲発育が長期の認知能と関連する。
- 河野由美. SGA児の発達予後とプログラミング. 周産期医学 2007 ; 37 : 617-20

● . . .

○ . . .